

これまでの授業で、筆と墨の表現の幅広さを体感してきました。
同じ筆や墨も使い方を工夫することでさまざまな表現ができます。

次週の授業では、再び自分の書きたい言葉を書いてもらいます。
はじめの授業でも同じことをしましたが、その時とは異なる筆や墨の使い方を知っています。
それを活かしてもらいたいと考えています。

今回は、その草稿（下書き）を課題にします。

左に手順や詳細を載せますので、それを参考に作ってみてください。

来週（二十一日）の授業で使うのでそれまでにしっかり完成させてください、**提出もあります**

●作品のサイズは半紙（いつも使ってるサイズ）です。縦横は自由とします。

◎書きたい言葉を考えましょう。

（単語でも文章でも可。文字数自由。漢数字・かな・アルファベットなどつ文字であればなんでも可）

◎言葉をどう表現したいか考え、具体的に想定を書きましよう。（さまざまな表現を複合させて良いです。）

・太さを考えてみましょう

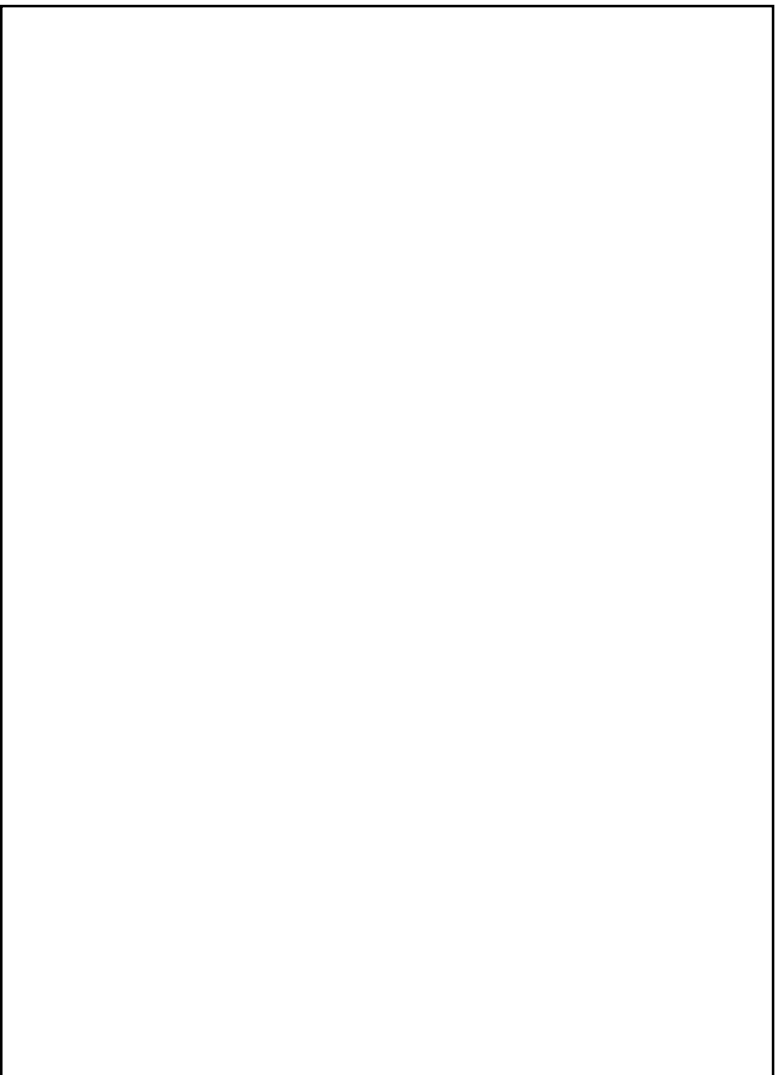
・墨の薄さ・濃さを考えてみましょう

・紙のどの部分に書くか考えてみましょう（例…上の方にだけ書くなど…）

裏面に型を用意したので、想定図を書くのに使ってください。

◎ 枠（半紙の相似形）に実際書いた場合の出来上がりの想定図を書いてみましょう。
太さを表現したい場合は、今回は筆じゃないので、塗り重ねたりして表現してください。

縦づかい



横づかい↓

